

令和 8 年 7 月 2 日
建設・水道常任委員会資料
都市整備部公園緑地課

令和 7 年度宇治市植物公園の
指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第
11 条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和 7 年度 事業報告書

令和 8 年 5 月 2 8 日

施設名	宇治市植物公園
団体名	公益財団法人 宇治市公園公社
代表者名	理事長 木村 幸人
指定管理期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日（5 年間）

（１）業務実施状況報告（令和 7 年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

公益財団法人宇治市公園公社は都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的として設立され、平成 18 年度からは宇治市植物公園、黄檗公園、西宇治公園などの有料公園施設の指定管理者として、19 年間にわたり管理・運営を行う中で、宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び施設の健全な利用を通してスポーツ・レクリエーションの振興に努めてきたところで

す。

宇治市植物公園については、引き続き都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民緑化意識の向上及び地域植物の保存育成に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、福祉、市民参画、レクリエーション等の機能を有する「みどりの総合拠点」としての役割を果たしています。運営面においては、市民協働参画、産学官連携、各種団体・地域等の連携に主眼を置いた各種事業を企画し、積極的に実施しています。

令和 7 年度は、市民や企業からの寄付による「花と水のタペストリー」の絵柄更新を年 2 回継続実施すると共に、各種学校との連携によるイベントやワークショップの開催、地域や各種団体との連携によるマルシェ等の開催、また、市の施策の推進に寄与する「子育て支援関連事業」などを積極的に実施し、市民や地域が身近に利用できる公園づくりに努めているところです。しかしながら、総入園者数は、昨年度よりは増加したものの、各地で開催される催しへの分散化や秋の天候の影響を受け、令和 7 年度は 121,891 人となり、目標の 12 万 5 千人を達成することができませんでした。また、入園料収入等の利用料収入についても、26,265,320 円で目標の 27,515,000 円を下回る結果となりました。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

公の施設においては、すべての人に守っていただく共通のルールが不可欠です。しかし、当公社は、本当の意味での公平・平等とは、共通ルールの遵守だけではなく、そこに「すべての人に気持ちよく利用してもらうためのきめ細やかなサービスや対応」が加わったものと考えています。

特にご高齢の方やお身体の不自由な方には意識的に目を配り、サポートを必要とされる方には施設側からの働きかけによって対応しています。

また、当公社のこの考え方については、再委託事業者に対しても同様に意識啓発を図っています。

1、「ハード」と「ハート」のバリアフリーの実践

一般的にバリアフリーというと、施設の設備面、いわゆる「ハード」のバリアフリーととらえられがちです。しかし、令和6年4月1日に改正された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政・事業者に対して「合理的配慮」の提供が義務化されています。

当公社は、この「合理的配慮」の考え方を重視し、ユニバーサルマナーの習得に力を入れ、「ハード」のバリアフリーのみではなく、スタッフの配慮による介助・サポートでお客さまにとってのバリアを取り除くこと、すなわち「ハート」のバリアフリーを実践しています。

2、ハード面でのバリアフリー

- ・園内各所の小さな段差や園路のへこみを随時無くし、高齢者や車いす、ベビーカー利用者の転倒事故の防止や負担を減らし、散策しやすい園内にするとともに、速やかに修繕できないときは来園者に危険がないように対応しています。
- ・起伏のある園内ではベンチなどの休憩箇所を増やし、高齢者や障害者、お子様への負担を減らしています。
- ・自動販売機は点字表示と車いすの方でもご利用可能な機種を設置しています。
- ・多目的トイレはオストメイト対応箇所を設けています。また、洋式トイレの一部をウォッシュレット機能付きにしています。
- ・小さいお子様連れに、授乳室を設置しています。

3、ソフト面でのバリアフリー

- ・車いす、ベビーカーの貸し出しを行っています。車いすはアシスト付きのもの、こども用をご用意しています。
- ・情報ツールとしてHP、SNS（X、Instagram、フェイスブック等）、掲示板・案内板、施設パンフレット及び月ごとの情報チラシ、各イベントのチラシやポスターを作成するなど多様なツールを用意しています。
- ・源氏物語の植物ガイドアプリの構築と導入により、スマートフォンを使って、英語や音声で解説を聞くことができます。

- ・「ハーブ&ローズフェスタ」や「ジャパンコーヒーフェスティバル」、また園内ガイドなどにより、見るだけでなく、植物の香りや触感、水の音や生物の鳴き声、植物から出る音、植物の味等五感で楽しめるイベントや催しを行いました。
- ・車いすの方や小さなお子様も楽しめる植栽設計として、ユニバーサルデザインのコンテナの設置やこども花壇を設置しています。

4、来園者への対応

当公社作成の接客マニュアルをもとに来園者に応じて筆談などの対応をしました。

5、認知症への理解

宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」のシンボルとなっている「レモン」の木を令和6年度に引き続き管理し、啓発に努めました。

【利用拡大の取組結果について】

利用拡大のための新規事業として、以下の取り組みを行いました。

1、催し物

・ イースターエッグハント 2025

イースターの時期に行うこども向けの催しで、園内のほぼ全域を利用し、隠されたたまごを探すイベントです。家族連れやグループで参加され、新たな利用者の拡大につながりました。

・ 蔦十の唐丸ウォークラリー

隣接する山城総合運動公園（京都府公園公社）とクリーンパーク折居（城南衛生管理組合）と連携し、デジタルスタンプラリーを令和6年度に引き続き行いました。

・ 収穫祭

昨年までの紅葉フェスタをリニューアルし、収穫祭として新たにサツマイモの収穫体験やキノコの菌打ちなどをサポートボランティアの皆さんにご協力いただきながら実施いたしました。

2、展示会

・ 30 回記念 菊花展

開園より実施 30 回目を迎える菊花展を盛り上げるために、例年のコンテストやサガギクの展示に加えて、サポートボランティアの協力によるドーム菊約 100 鉢の栽培展示を行いました。

- ・きのこ展

園内に発生するキノコの写真の展示とキノコが発生する仕組みをパネルで紹介しました。

- ・京都クリスマスローズ展

入園者数が減少する２月に、育てやすく人気がある植物の一つであるクリスマスローズの展示即売会を行いました。

３、野外管理

- ・巨椋池由来のハスのコレクションについて、（公社）日本植物園協会によるナショナルコレクションの登録と栽培管理を継続して行いました。
- ・サポートボランティアとともに秋のゾーンに柑橘類の植栽を行いました。
- ・サポートボランティアとともにドーム菊約 100 鉢の栽培管理と展示を行いました。
- ・バラの小径を拡充するべく、樹木の伐採や植栽設計を進めました。令和 8 年度も継続して行います。
- ・こども花壇の植え替え（年 2 回）と収穫を参加した親子とともに行いました。

【利用料金収入の結果について】

	入園者数 (人)	入園料収入 (円)	施設使用料収入 (円)	駐車場収入 (円)	収入合計 (円)
令和 7 年度見込	125,000	19,375,000	100,000	8,040,000	27,515,000
令和 7 年度実績	121,891	17,193,490	197,830	8,874,000	26,265,320
実績／見込 比	97.5%	88.7%	197.8%	110.4%	95.5%

令和 7 年度の利用料金収入は 26,265,320 円であり、事業計画書に記載の 27,515,000 円の目標値に対して約 1,249,680 円下回りました。

【自主事業に関する取組結果について】

１、自主事業に関する方針

- ・植物公園をより便利に快適に楽しく利用していただくために実施します。
- ・営利目的で行うものではありませんが、収支は黒字となるように心掛けます。
- ・収益は当園の運営体制の強化及び施設の改修など公益目的事業に還元します。

2、自主事業収入実績

事業項目	内容	金額
自動販売機	自動販売機販売（7 台）	594,766 円
飲食物販（直接販売）	アイスクリーム・土産品販売	669,996 円
	オリジナルハーブティ販売	97,500 円
	余剰苗販売	2,487,950 円
	オリジナルグッズ販売	
飲食事業（委託）	喫茶コーナー使用料	130,994 円
マルシェ等	夕涼みマルシェ・菜の花マルシェ	1,380,254 円
	ナチュラルマルシェ in 植物公園等	
有料イベント	展示会・イベント販売手数料等	
有料体験プログラム	体験プログラム	1,210,102 円
講師の派遣	講師（職員）派遣料	
設備使用料	コピー機、ロッカー使用	14,870 円
合計		6,586,432 円

「飲食物販（直接販売）」や「マルシェ等」、「有料イベント」の手数料については当初見込みを大きく上回る結果となりました。物品の購入をリピートされる方も多くみられ、また、マルシェ等で植物公園の市民活用が広がった結果、来園者の満足度は高まっていると思われます。有料体験プログラムは営利目的で行っているものではありませんが、収支が黒字となるよう心掛けています。

【情報発信の取組結果について】

1、ホームページの更新

- ・ホームページをリニューアルし、より見やすくわかりやすくしました。
- ・園内の見ごろ植物や見どころの旬を逃さず、随時更新を行いました。
- ・関連施設のリンクや SNS を利用してアクセス数の増加を図りました。
- ・ホームページのユーザー数は 158,208 人でした。

2、SNS を活用した広報

- ・X（212 回更新）、インスタグラム（149 回更新）、フェイスブック（インスタグラムと連動）を活用し、情報発信を行いました。

3、メディアへの情報提供

- ・催し物情報や植物の開花情報などの報道連絡を行いました。
- ・毎月1回FMうじの番組に出演し、当園の見ごろ情報やイベント情報を案内しました。
- ・新聞、情報誌、テレビ、ラジオなどに見ごろ情報、催し物情報の提供を133回行いました。

4、ポスターチラシによる広報

- ・催し物のチラシ（合計約16万5千枚）、ポスター（合計約3千枚）などは職員でデザインし、宇治市内の施設や掲示板、近隣類似施設などに配架し、集中的に告知を行いました。

【管理運営体制等について】

1、運営体制

- ・正職6名、嘱託職員4名、臨時職員8名 計18名を配置しています。

2、研修の実施状況

- ① 普通救命講習会を行いました。
- ② 京都花蓮研究総会・研修事業へ参加しました。
- ③ 近隣植物園との種苗交換を行いました。
- ④ 日本植物園協会による「地域と植物園の連携」について各植物園と意見交換を行いました。
- ⑤ 公園管理運営士の資格更新を行いました。

【地域との連携、市民参画の結果について】

1、緑化推進に関するボランティアとの連携

○宇治市植物公園サポーター制度

- ・サポートボランティア登録者49名。施設管理、植物管理、イベント補助など年間活動数96回、延べ562人が参加しました。

○花と水のタペストリー絵柄更新のための花苗植え付け市民ボランティアの募集

- ・タペストリーの絵柄更新ボランティアは年2回実施し、延べ11日間で188名が参加しました。

○宇治市緑化ボランティア「みどりの会」との連携

- ・宇治市緑化ボランティア「みどりの会」による年間活動数は132回、延べ844人が参加し、技術指導や活動支援を行いました。

○市民ボランティアによる花壇の植え付け

- ・こども花壇を設置し、NPO法人子育てを楽しむ会の「おさんぽ☆リボン」の協力を得て、親

子の参加による花苗の植え付けと、初めて収穫も行いました。

2、施設運営の市民協働

○宇治市植物公園サポーター制度

- ・植物公園サポートボランティアの活動による老朽化したベンチや机の改修、門扉などの塗装を行いました。
- ・花と水のタペストリー更新に係る費用の寄附を募りました。

(令和7年度寄附金額 332,589円)

○市民公募

- ・菊花コンテスト作品募集 11名、12点の応募
- ・写真コンテスト作品募集 83名、152点の応募

3、地域や教育機関との連携を広げる取り組み

○教育機関との連携を広げる取り組み

- ・立命館宇治中学校・高等学校の課外授業「生物の多様性と生態系」のフィールドワーク、参加協力等の取り組みを行いました。
- ・宇治市内の小中学校による校外学習や職場体験、出前授業等など13校の利用がありました。
- ・京都府立宇治支援学校の課外授業で花苗を販売しました。
- ・京都府立田辺高等学校、京都府立木津高等学校、立命館守山高等学校にイベント協力いただきました。
- ・京田辺シュタイナー学校の学生を職場体験学習で受け入れました。

連携先	事業	実施月
京都府立田辺高等学校	「GW イベント」でのミニ鉄道運行	5月
京都府立木津高等学校	「ハーブ&ローズフェスタ」・「観蓮会」・「収穫祭」でのお茶（ハーブティー等）試飲と物品販売	5月、7月、11月
立命館宇治中学校・高等学校	課外授業「生物の多様性と生態」のフィールドワーク	2月
立命館守山高等学校	夏休みイベントのワークショップ企画運営	7月

宇治市内小中学校	遠足や校外学習・職場体験・出前講座の実施（13校）	春・秋
京都府宇治支援学校	課外授業・花苗の販売など体験	春・秋
京田辺シュタイナー学校	職場体験学習の受け入れ	9月

○地域団体との連携

- ・宇治市福祉サービス公社にレモンの木の看板等の管理を行っていただきました。
- ・宇治商工会議所、宇治市観光協会、お茶の京都DMOと連携し、催し物への後援名義使用や催し物の案内など、来園者誘致に取り組みました。
- ・福祉事業者と連携し、催し物への出店による物品販売やハーブティの製造委託などを行いました。
- ・宇治市いけばな協会と協力し、市民いけばな展を実施しました。
- ・宇治写真協会に写真コンテストの後援及び審査委員に参加いただきました。
- ・広野地区自治会連合会の協力で夕涼みマルシェ・なのはなマルシェを開催しました。

連携先	事業	実施月
宇治市福祉サービス公社	レモンの木の看板管理・見学など	通年
宇治市ファミリー・サポートセンター	寄せ植え講座	2月
広野地区自治会連合会	夕涼みマルシェ・なのはなマルシェの実施	9月、3月
宇治市観光協会	イベント情報の共有、協力	通年
宇治市いけばな協会 宇治市芸術文化協会	市民文化芸術祭参加事業 市民いけばな展開催	5月
NPO 法人京都フォーライフ	園内のカフェの運営	通年
宇治市観光協会	観光振興	通年

宇治商工会議所、宇治市観光協会、宇治写真協会、エフエム宇治放送、洛タイ新報	宇治市植物公園写真コンテスト展示会への後援	3月
エフエム宇治放送	FM うじ 宇治市探検への出演	毎月最終月曜日
地元町内会、サークル等	夕涼みマルシェ・なのはなマルシェの開催、ホタルナイター出演（和太鼓）、和太鼓フェスタの企画運営	6月、9月、10月、3月
宇治山草会、宇治皐月会、宇治菊花会、京都富貴蘭会、京都ミヤマムギラン会、京都蘭友の会、京都シャボテンクラブ、百喜千遊会	展示会の開催	通年
野遊び研究会、女子力☆キラキラ応援団、志津川ハーブ園、フォレストうじ	イベントへのワークショップ等参加	春・秋
eco ット宇治	イベントへの参加、緑のカーテン講習会の実施	4月
福祉事業者	ハーブティ製造、イベントへの出店など	通年
NPO 法人子育てを楽しむ会	おさんぽ☆リボン出張広場の実施	毎週水曜日

○民間企業等との連携

- ・タキイ種苗(株)による会員誌「はなとやさい」への催し物情報の提供など連携を行いました
- ・（一社）ジャパンコーヒーフェスティバル実行委員会との共催でジャパンコーヒーフェスティバルを開催しました。（春）
- ・京滋ヤクルト販売株式会社の協力で出前講座を開催しました。
- ・うじ草あわせ実行委員会と協力し、うじ草あわせ「植物展示即売会」を開催しました。
- ・かけはしフェスタ実行委員会と協力し、かけはしフェスタを開催いたしました。（春・秋）

連携先	事業	実施月
タキイ種苗株式会社	タキイ種苗発行「はなとやさい」情報提供	通年

京滋ヤクルト販売株式会社	出前講座・健康チェックなど	8 月
(一社) ジャパンコーヒーフェスティバル実行委員会	ジャパンコーヒーフェスティバル開催	4 月
うじ草あわせ実行委員会	うじ草あわせ 開催	10 月
かけはしフェスタ実行委員会	かけはしフェスタ 開催	4 月、10 月
(一社) フラワーソサイエティ	緑の相談員 情報連携、園芸大学への参加	通年
レストラン蝶々 (スーベニアショップ)	マルシェ、縁日の開催 (ハロウィン、夕涼み マルシェ)	随時
ナチュラルマルシェクラブ	ナチュラルマルシェ開催	5 月 (雨天のため中止)

○ (公財) 京都府公園公社との連携

- ・遠足プランの実施及び緑のウォークラリー、蔦十の唐丸ウォークラリーを実施しました。
- ・植物公園への案内板の張替えを行うと共に、当園の駐車場が混雑した際に太陽が丘の駐車場を来園者に案内しました。

○城南衛生管理組合との連携

- ・(公財) 京都府公園公社とともに、蔦十の唐丸ウォークラリーを実施しました。
- ・夏休みのワークショップや早春園芸市に出店し、ワークショップや剪定枝のチップ配布等実施されました。

○きょうと生物多様性センター

- ・イベント情報などの提供を受けました。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

- ・来園者等の苦情・トラブルについては速やかに対応すると共に、報告書の作成と職員への周知に努め、今後の管理運営に活かしています。
- ・夜間は警備会社の巡回や遠隔監視により、異常が発生した場合でも速やかに対応できるよう努めています。
- ・防災に関しては各種危機管理マニュアルを作成し、緊急時連絡体制、救助体制、利用者への注意喚起の連絡や避難誘導、立ち入り禁止措置等が迅速かつ適切に対処できる体制づくりを実施しています。
- ・園内でのけが人には応急の処置をして状況を把握し、必要に応じて救急車を呼ぶなど適切な処

置を行いました。併せて報告書を作成し、状況を記録しました。

- ・台風や豪雨などの防災対策として、カムループス通り沿いの高木伐採や園内で倒木の恐れのある高木等の剪定や伐採を行いました。また、園内を日常的に巡回点検し、異常を発見した時は日報に記載し、職員間で情報を共有するとともに適切な処置を行いました。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

1 年を通じて実施した来園者アンケート（回答数 83）などをもとに今後の管理運営に活かしています。また、市を通して、市民の声や直接の来園者からの声からも利用者の要望を把握するように努めています。

アンケート結果による利用者の要望としては、植物名の表示を増やしてほしい、除草を行ってほしいなど、また、イベントに参加してよかった、植物に癒されるなどの感想がありました。植物名の表示などは随時増やしました。

【サービス向上取組内容について】

1、利用料金の見直しについて

- ① 前年度に続き、年間入園券を減額することで年間入園券の購入者及びリピーターの増加による利用促進を図りました。

○年間入園券料金

	変更前	変更後
大人 1人通年	1,800 円	1,500 円
小人 1人通年	900 円	750 円

○実施結果

	R4	R5	R6	R7
大人（人）	1,290	1,128	1,066	1,137
小人（人）	32	26	25	20
計（人）	1,322	1,154	1,091	1,157
金額（円）	1,959,000	1,711,500	1,617,750	1,720,500

- ② 前年度に続き、入園者増を図るため夜間料金を減額し利用促進を図りました。

○蛍ナイト開催時を除く夜間イベント開催時の 16 時以降の料金

	変更前	変更後
大人 1人1回	360 円	300 円
小人 1人1回	180 円	150 円

○実施結果

	R4	R5	R6	R7
夜間開園日（日）	69	24	25	25
人数（人）	15,513	11,465	12,515	16,304
金額（円）	237,150	187,800	428,470	210,510

2、利便性向上の取組

- ・ベビーカー、車いすの無料貸し出し

ベビーカー4台、車いす6台（アシスト付き2台、子供用1台含む）

- ・子育て支援事業への協力

① おさんぽ☆リボンは、宇治市より委託を受けた NPO 法人子育てを楽しむ会が運営する事業で、未就学児と保護者を対象に開設されています。当園では毎週水曜日に研修室で開設されます。

② 市の委託事業を受け、11月24日に「キッズフェスタ 2025 in 宇治市植物公園」を開催し、2,000人を超える参加者が有りました。

③ こども花壇において、年2回親子ボランティアで花苗の植替えと収穫を行いました。

- ・お誕生日プレゼント

ご来園いただいた方がお誕生日の方に「お誕生日プレゼント」をお渡ししています。令和7年度は当園の季節の植物が印刷されたオリジナルファイルをお渡ししました。

- ・当園出口付近に車いすやベビーカーの方がわかりやすいように、スロープの案内看板を設置しています。

- ・緑の館前で利用者から要望が多い花や野菜の苗の販売を行いました。

- ・ユニバーサルデザインのコンテナを設置し管理しています。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

1. 経費削減

① 植物残渣をたい肥化し花壇の土壌改良に利用するとともに、剪定枝やガマ・ヨシの刈穂はチップ化して、園内の仮歩道などに敷設又は樹木などのマルチング材として利用しました。

② 電気使用量をデマンドにより調整するとともに各所の節電を徹底しました。また、照明をLED化しました。

③ 植物管理作業などを効率化し節水に努めました。

④ 管理温室のボイラーの使用についてはこまめに運転調整し、燃料の縮減に努めました。

⑤ イベントでは外部委託を極力減らし、職員を主体にボランティアや市民団体の協力、教育機関との連携などにより経費を削減し実施しました。

⑥ 植物管理では資材や原材料の価格と効果を検討し、使用する資材の見直しを行いながら、自家製たい肥やマルチングなども利用し、経費の削減に努めました。 ⑦ 余剰苗を販売することで、来園者サービスの向上と余剰苗の有効利用を行いました。 ⑧ 施設の小修繕は可能な範囲は職員で行い、経費の削減に努めました。ボランティアの協力を得ながら、机やイス、ベンチの修理などを行いました。 ⑨ 銀行手数料の削減に努めました。 ⑩ 事業計画書に沿って事業を実施するとともに、新規事業も取り入れ入園者の増加と施設利用料の増額に努めました。 ⑪ リピート率が高い事業（講習会のシリーズ化、園長と散歩等）を取り入れ、入園者の増加等施設利用料の増額に努めました。 ⑫ 花と水のタペストリー第 105 作目「招き猫」、第 106 作目「干支午」の絵柄更新を宇治市植物公園サポーター制度によるサポートボランティアと市民ボランティアとの協働で行いました。 ⑬ 民間企業の花苗提供により、原材料費を削減しました。 ⑭ 花壇に植栽する花苗の一部をタネから育てることで原材料費を削減しました。
【個人情報保護措置と実施状況について】 「個人情報保護に関する法律」に基づき対応することとし、個人情報の管理については鍵のかかる場所で保管を行うと共に、情報管理についての職員の意識を高めるよう機会あるごとに啓発を行いました。 また、文書の廃棄については、マニュアルに基づいて適切に処理をしました。
【情報公開対応と実施状況について】 「公益財団法人宇治市公園公社情報公開規程」に基づき運用しました。 なお、令和 7 年度において情報公開請求はありませんでした。
【その他】

(2) 施設利用状況報告（令和7年度）

【施設利用状況】 1. 入館（場）者数
15 ページ「令和7年度宇治市植物公園の利用及び収入状況」のとおり
【施設利用状況】 2. 貸館状況
15 ページ「令和7年度宇治市植物公園の利用及び収入状況」のとおり

令和7年度宇治市植物公園の利用及び収入状況

施 設 名		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)	利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)	利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)	利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)
植物公園	入 園 者	123,541	人	16,642,410	108,538	人	16,868,050	110,146	人	16,573,460	121,891	人	17,193,490
	駐 車 台 数	20,659	台	8,282,300	19,113	台	7,694,700	21,125	台	8,464,300	22,108	台	8,874,000
	施設使用料			160,540			213,110			148,700			197,830
	合 計			25,085,250			24,775,860			25,186,460			26,265,320

(3) 管理経費収支報告（令和7年度）

（単位：千円）

施設名		宇治市植物公園			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	173,177	175,427		
	利用料金収入	27,515	26,265	別紙	
	その他	5,226	8,202		
収入合計（A）		205,918	209,894		
支出	人件費	89,201	90,491		最低賃金上昇による増
	事務費	12,369	11,582	租税公課費 8,280 使用料及び賃借料 1,163 その他 2,139	
	管理費	69,238	71,691	委託料 54,502 修繕料 8,468 その他 8,721	
	事業費	35,110	36,130	光熱水費 29,979 燃料費 2,229 その他 3,922	光熱費高騰による増
	その他	0	0		
	支出合計（B）	205,918	209,894		
収支（A）－（B）		0	0		

実績における市からの委託料（175,427千円）は、最低賃金上昇による人件費の上昇、物価高騰による光熱費の高騰に対して、リスク分担に基づき、委託料を増額して対応を行った後の金額

(4) - 1 事業実施状況報告 (令和7年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
該当事業なし		

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和7年度)

団体名 公益財団法人 宇治市公園公社
(単位: 千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数 と 一人あたり	収支 (A) - (B)	収入		支出(B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝礼	材料費 等	その他
該当事業なし		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
計	予定額	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0	0

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入する事